

こんしゅう 今週のことは「いのちの源」

せいしょ 《聖書》 ヨハネによる福音書 11:1-45

ひと 人のいのち

ひと じんせい なが みじ  
人の一生は長いようで短いものです。  
さいさん じゅみょう の  
最近はその寿命も延びたといいます。し  
かし、この地球の歴史とくらべたらはか  
ないものです。自分じぶんは死しなないと思おもって  
いても、いつ死しぬかわからないのです。  
わたし まわ ひと し  
私たちの回りでもたくさんの人たちが死  
んでいます。

しかし、たとえ死しんでも人々ひとびとの中で語かた  
りつがれている人もいます。この人たち  
はたとえ短みじかい一生いっしょうだったかも知しれませんが、その人ひとのいのちつづはいつまでも続つづ  
いているように思おもえます。

人はたとえ死しんでも、その人ひとのいのち  
は永遠えいえんに続つづいているのです。人ひとのいのち  
は死しによって終おわるのではありません。

ふっ かつ  
復活ふっかつであり、  
いのちであるイエス

きょう ふくいん ものがたり つた  
今日の福音にはラザロの物語が伝えら

ものがたり よ  
れています。この物語は読んでいてもず  
り かい たいへん  
いふんと理解するの大変です。ところ  
ふっかつ こと  
で、復活とはどういう事なのでしょう。か。  
きょうやくせいしよ なか はくがい なか  
旧約聖書の中でも、すでに迫害の中  
し ひと こと  
死んでいった人がどうなるのかという事  
ひとびと しんぱいごと つた  
が、人々の心配事として伝えられていま  
ひとびと じぶん しんこう まも  
す。人々は自分たちの信仰を守ろうとし  
ころ ひと せいえん  
て殺されていった人たちが、きつと永遠  
う こと し だい しん  
のいのちを受ける事を次第に信じるよう  
になっていきました。

マルタがイエスに対して言った言葉は、  
かなが ただ ひと  
この考えにもとづいています。正しい人  
お ひ ふっかつ こと  
たちが終わりの日に復活する事を、マル  
せいしよ おし しん  
タも聖書の教えとして信じていました。

しかし、イエスはそれでも、マルタに  
お こと こと おし  
終わる事のないいのちがある事を教えて  
います。イエスの言っているいのちは、  
わたし ひと いっしょう かが  
私たちが人の一生として考えているいの  
ちが みなもと  
ちとは違うようです。いのちの源である  
しん こと わたし し  
イエスを信じる事によって、私たちは死  
おそ ゆうき も こと  
を恐れない勇氣を持つ事ができるのです。  
しじゆんせつだい しゅじつ ねん たきの  
四旬節第5主日A年（滝野）